

九十九島と島の暮らし

黒島観光協会 理事長 山内 一成さん

今も昔も本土との交通は船です。幼少の頃、母に連れられて佐世保本土に行くのが楽しみでした。船は木造船の「黒島丸」で、黒島港には浮棧橋などはなく、はしごで船に乗っていました。相浦港までの所要時間は今とあまり変わりませんでした。途中、黒島の根谷沖に待っている伝馬船の乗客を乗せてから相浦へ行ってました。当時島内には三輪車が2、3台いましたが、人の移動はみんな徒歩で、家から近い方を選んで乗船していた記憶があります。我が家は黒島天主堂の目の前にあり、黒島港と伝馬船が出る根谷が同じくらいの距離だったので、時間があるときは黒島港、ないときは根谷から乗船していました(伝馬船の方が遅く出るためです)。



相浦港には1日2便、月曜日だけ佐世保港へ1日1便運航していて、私は佐世保港に直接行く月曜日に乗船するのが特に楽しみでした。黒島港から佐世保港まで1時間30分の乗船ですが、向後崎から佐世保港までの景色と大小の船舶を見ながら過ごす時間は子ども心にワクワクするものがありました。

SSKで建造された「日章丸」(昭和37年10月竣工、当時世界最大のタンカー)が黒島沖に出現したとき、あまりの大きさに「デカイ！」と叫んだことを今も覚えています。

写真出典「黒島 - 出稼ぎと移住の島」1961年 神戸大学経済経営研究所「連絡船に小船で乗りつける島のり」

一つの行動が大きな輪になる社会へ

サッカーのワールドカップが終わりました。日本は惜しくも決勝トーナメントで敗れましたが、世界のトップ選手が戦う様子はまさに圧巻で、私もついつい夜更かし気味になる毎日でした。

サッカーの試合を見ていると、試合後、負けてうなだれる選手に、勝った選手が声を掛け、肩を組んで言葉を交わしたり、ハグをして労いや感謝を表している場面をよく目にします。試合中は敵同士でも、試合が終わればその勝ち負けを問わず、健闘を称えるその姿勢は素晴らしいと毎回思います。

また、日本のサポーターの皆さんが、試合会場で自分たちが出したごみに限らず、ごみ拾いをする場面は、以前からよく見掛けていましたが、今回のニュースを見ていると、日本に負けじと他の国にも広がっていているようでした。日本人が始めたこのような善行が世界に広がりを見せているのを見ると、誇らしい気持ちになります。

社会の中でも同じように、一つの気持ち良い行動が大きな輪を作り、人々を包んでいくような、そんな社会が作れたら。そのために自分には何ができるのかを考えながら暮らしていきたいと思いました。(20代男性 匿名)

「聞いて徳する話」を募集中です。応募用紙は徳育推進会議事務局で配布し、市HPからダウンロードすることもできます。
☎佐世保徳育推進会議 ☎23-2856

市長日記

本格的な「大交流時代」が到来！「おもてなしの心」で迎えましょう



2014年5月号の広報させば市長日記に「大航海時代から大交流時代へ」と題し、7万トン級の大型クルーズ船「フォーレングダム」の佐世保港への初寄港の喜びを掲載しました。

その後、佐世保港にはクルーズ船の寄港が年を追うごとに増え、本年2月には、延長工事を行っていた国際ターミナルの岸壁が一部供用開始したことから、10万トン級の船も寄港できるようになりました。

そして、7月1日に国際ターミナル岸壁の延長工事が完成したことから、23日、16万トン級の「ノルウェー・ジョイ」が初寄港し、その雄姿を現すことになりました。

この寄港を皮切りに、佐世保港には来年3月末までに76隻の寄港予約(16万トン以上7隻、10万トン～16万トン以下24隻、7万トン～10万トン以下7隻、7万トン未満38隻)が入っており、本市においても、まさしく本格的な「大交流時代」を迎えることになりました。

これまで三浦岸壁国際ターミナルの延長工事に際し、ご理解とご協力をいただいた海上自衛隊佐世保地方総監部や佐世保海上保安部、米海軍佐世保基地、佐

世保市漁業協同組合、港湾関係者など全ての関係機関の皆さまに改めまして厚くお礼を申し上げます。

また、ほぼゼロからのスタートにもかかわらず、佐世保港が大型クルーズ船の寄港地として、ここまで注目されるようになったのは、岸壁などのハード整備だけでなく、出迎えや見送りイベント、ボランティアガイドなどにご協力いただいた多くの市民の皆さまのお力添えのたまものであり、心から感謝の意を表する次第であります。

さて、これから多くのクルーズ船を受け入れ、これまで以上に多くの観光客(浦頭港新ターミナルが供用開始になれば年間300隻、100万人以上の観光客)に訪れていただくこととなりますので、インバウンドのお客さまから見た、交通、通信、言語表記、観光地、ガイド、飲食、土産物、買い物、スマホ決済など、満足いく受け入れ体制を整えていくことが肝要だと思います。そして、何よりも大切なのは、市民の皆さまの「おもてなしの心」だと思います。言葉や習慣の違いをよく理解して、受け入れ、接することが名実共に「国際クルーズ船拠点港湾」として、これから何十年、何百年の佐世保の発展につながるものと思いますので、市民の皆さまのさらなるご協力をよろしくお願いいたします。

佐世保市長 朝長 則男

市からの広報番組など

文字情報とアナウンスでお知らせする「させば市政だより」と市長が出演する「キラっ都させば」を民放4局(週替わり)で約5分間放送しています。どうぞご覧ください。

土曜 9:25 NBC、11:45 KTN、17:25 NCC、日曜 6:30 NIB

「キラっ都させば」第1・3土曜 NBC、KTN 第2・4土曜 NCC 第2・4日曜 NIB

※「キラっ都させば」はテレビ佐世保でもご覧いただけます(毎週日曜 18:55)。

● FM長崎(5分)火曜 9:05 ● FMさせば(55分)金曜 13:00、16:00(再放送)、土・日曜 8:00(再放送) ● 長崎新聞 毎月第2・4火曜 ● NBC長崎放送「dボタン」



YouTube版



プレゼント応募



人の動き (8月1日現在) 総人口 249,901人(前月比-196人) 男性 118,325人(-72人) 女性 131,576人(-124人) 世帯数 105,602世帯(前月比-79世帯) 7月中の動き 転入 566人、転出 680人 出生 184人、死亡 266人



「ノルウェー・ジョイ」(全長333.46m、総トン数16万7725トン、乗客定員4,620名、乗組員1,821名)。